

# 梅窓院通信

No. 98  
2019/01/01

# 青山



第9回  
優秀賞  
秋彼岸写真展  
受賞作品



今となつては珍しい「未舗装路」です。雨が上がって水溜りがあちこちに出来ています。水溜りに雲が映り抒情的な風景に感動しました。

テーマ  
自然 「水玉の道」  
撮影:



テーマ  
人物

「採れたよ！」

撮影:

最高気温36度の中、汗だくになって収穫作業をお手伝いしました。大好きな葡萄を手にしてにっこり！



テーマ  
旅行

「誰に見えるかな？」  
撮影:

ベレー帽を被ったおばあさん？ それとも子供？ 人によって見方が変わる不思議なカボチャです。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

平成最後の年を迎えました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

この一年も穏やかで平和な一年にしたいものです。

さて、平成が終わるとともに、行事を一つ終わらせることに致しました。皆様にご参加いただいた写真展です。

毎年秋のお彼岸に合わせて募集し、彼岸会で展示会を行ってきました。そして、その展示会場で参拝者に投票していただき、投票の多かった写真をこの『青山』新年号の表紙で発表させていただいてきました。ですが、年々応募数が減ってしまい、今回の決断に至った次第です。

昨今は多くの方が気軽にスマホで写真を撮る時代、かつてのように一枚の写真を撮るのに気持ちを込めてシャッターを切った時代とは大きく違って来たようです。また、撮った写真もコンピュータで加工できる時代となり、写真というものの概念も変わりつつあるのかもしれない。

ということで、今秋の彼岸には漆器と螺鈿細工の展示会を企画する予定です。日本の伝統文化であり、芸術作品であり、日常品でもある漆器。そしてその美しさから美術品でもあり、同時に生活を豊かに、そして潤してくれる工芸品でもある螺鈿細工。幸い梅窓院と縁の深い漆器店や螺鈿細工の作家先生にもご協力いただけます。どうぞ、今秋のお彼岸を楽しみにして下さい。

さて、最後にバリアフリーの完成のお知らせです。墓地にスロープを作り、どこにでも車椅子で行けるようになりました。オレンジピック、バラリンピックで盛り上がる東京。その中心に位置する当院でのバリアフリー化が、東京のユニバーサルデザインに少しでも役に立てれば幸いです。

三が日の泰平安穩

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

の

どやかな新年正月。めでたさ  
いっぱい初春新春の慶賀の  
中でおだやかに、やすらかに、のんび  
りとした正月日和を迎える。新玉の千  
代の春・四方の春の安寧平安を心から  
願わずにはいられない。

近年、日本列島は続けざまに多くの  
災害に見舞われている。地震や豪雨や  
暴風など、いずれも数十年に一度とい  
われるような強く、大きく、激しい自然  
の災いが猛威をふるっているのでは  
ある。それはまた日本列島だけでなく、地  
球上の南北、東西のいずれの地域にお  
いても例外ではないのである。そうし  
た中で、この一年、なんとか無事平安で  
ありますように、どうか災厄災禍の少  
ない一年でありますように、と心から  
祈り願って迎える、まさに新年正月で  
ある。

そこで、まさしく新しき年のお正月  
の元旦、二日、三日という三が日の年賀  
日和の中で、正月気分を感謝して味わ  
いながら、確かめながら、世の中の泰平  
安穩・泰平安樂に心を寄せつつ、仏心を  
育てはぐくむことができるような新春  
句を取り上げてみたい。ともかく、のど  
かな初春三が日の泰平句を鑑賞した  
い。

まずは子供たちのすこやかな成長を

願いながら……。

をのこ子の小さきあぐら年新た (千空)  
路地の子の礼して駈けて年新た (あや)  
ましがらに母に走る子年新らし (ゆき子)

青森県の俳句を先導した成田千空の  
句には、大人びた胡座の少年の童心を  
温かく見守る慈愛の目を感じ取りた  
い。菖蒲あやは、句集『路地』によって俳  
人協会賞を受賞した女流。その代表句  
が右掲の句で、子供心の一途な素直さ  
を見事に写し取っている。渡部ゆき子  
の句趣にも、慈母に包みはぐくまれる  
元氣な子供の姿が愛らしい。

続いては、さまざまな人生の苦楽を  
歩んでこられた年老いた方々へ思いを  
寄せながら……。

風雅とは大きな言葉老の春 (虚子)  
正月の足袋白うして母存わす (碧雲居)  
三ケ日孫の玩具につまづきぬ (よしを)

俳聖高浜虚子は新春を迎えて、その  
老境を大きくおだやかに置いている。  
渡辺水巴門の大谷碧雲居は大人の風格  
を持った人であったが、母への敬愛の  
まなざしを初足袋の白さへ静かに向け  
ている。同じ水巴門の青木よしをの句

は、孫のおもちゃに思わず躓いた一瞬  
を捉えているが、そこには老齡の自戒  
とともに孫子へのやさしさを込めている。  
さてこそ、こうした三が日である。

元日に何のおもひもなかりけり (蜃楼)  
一人居や思ふ事なき三ケ日 (瀬石)

兵庫県明石にあつて『漁火』を主宰し  
た横山蜃楼、そして夏目漱石の両句、と  
もに一切の思い煩いを乗り越えた新年  
正月に坐している。

最後にいわゆる仏教句である。

仏壇のともりしままや去年今年 (童観)  
元日の灯を神棚に仏壇に (かな女)  
元日の日向にあるや僧の杵 (麦丘人)

下田童観、長谷川かな女、星野麦丘人  
の三句を並べて、おだやかな正月を心  
して受けとめたい。

新しい一年を迎えて改めて思い願う  
ことは世の中の無事平安・平穩安寧で  
ある。私は大上段に構えて、「天下泰平」  
「天下太平」を強く書き記して、物事が  
落ち着いて何事もないうような、のんび  
りとした豊かなやすらかなさを心を込め  
てはるかに祈り念じたい。

(大正大学名誉教授)

九・十・十一月の

行事報告

秋彼岸会法要・彼岸寄席  
9月23日(日)



秋彼岸寄席、三遊亭歌る多師匠

第75回  
念仏と法話の会  
10月11日(木)



十夜法要・芋煮会  
11月17日(土)



# 修正会

しゅししょうえ

## 2019年1月1日(火)

### 修正会法要

午前9時半～ 2階 本堂

### お雑煮

午前11時～ 1階 観音堂エントランス



※お雑煮の振る舞いは元旦のみになります。  
修正会に参列いただいた方から優先的に  
お雑煮の振舞いをさせていただきます。  
なお、数に限りがございますので予めご了承  
下さい。

#### 修正会 とは

新年を迎える仏教行事には大きく2つあります。ご存知除夜の鐘と修正会です。108の煩惱を、鐘を撞いて払い、清らかな身となり新しい年を祝うための行事です。個人の祈願だけでなく、国家安泰や五穀豊穰なども祈願します。梅窓院の元旦の修正会に、是非ご家族でお参り下さい。

#### 修正会によせて

平成最後のお正月を迎えましたが、本年も宜しくお願い致します。

新年といえはお年玉ですが、お年玉の起源は一説には新年にお迎えした歳神様にお供えするお餅を歳魂(としたま)といい、このお下がりを子供達に配ったことに由来するそうです。お年玉の玉は魂の「たま」なのです。

そして、これは浄土宗の大本山増上寺のお説教されたご上人に伺った話ですけれど、人は毎日一つ、仏様より磨かれてない玉(魂)をいただき、その日一日を精進され頑張った人はその玉がピカピカに光り輝く、という話でした。

一年という単位でも同じです。仏様より頂戴した今年の玉(魂)を輝かせよう、そんな決意の法要が当院でも元旦に勤修されています。それが修正会法要です。この法要は参拝者の一年の行いが正しくありますことと世の中の泰安を願う法要であり、まさに一年間、念仏を称え玉を輝かせ続ける決意を誓う法要です。当院の瀧沢上人による法鼓での阿弥陀経誦誦は新年に相応しく、高揚を誘う音色です。また、法要にご参拝いただいた皆様にはおせちとお雑煮も用意しておりますので、ご家族連れ合つてご参拝いただければと思います。

あかあかと一本の道とほりたりたまきはる我が命なりけり  
斎藤茂吉さんの短歌ですが、皆様方の一年の玉がこの歌の一本の道のように、燦然と輝くことを祈念致します。

修正会でお会いできることを楽しみにしております。

(法務部 中島真紹)

#### 絵馬について

新年のお参りに来ていただいた方にお配りしている絵馬は、元旦のみ1軒に1体のお渡しとさせていただきます。2体以上ご希望の方は事前に文書(FAXかハガキ)でお申し付け下さい。2体目から1体千円でお譲り致します。



#### 曆について

各檀家さまに1部同封させていただきました。2部以上ご希望の方はこちらも文書(FAXかハガキ)にてお申込み下さい。2部目から1部千円でお譲り致します。

# 江戸三十三観音と

## 浄土宗の

御朱印が大ブーム。  
いまや御朱印ガールはももちろん御朱印ボーイも珍しくありません。  
江戸三十三観音のひとつになっている梅窓院にも若い男女が訪れます。  
そこで、今回は御朱印の特集をお届け致します。

「御朱印」と聞くと四国の八十八ヶ所霊場巡りを思い浮かべる方が多いかと思えますが、もともと御朱印は宗教行為だそうです。つまりスタンプラリーや蒐集行為ではなく、参拝や祈願、写経したことの証の印なのです。とはいえ、綺麗な御朱印を作るお寺があるように、お寺と皆様の縁を結ぶもの、と捉えるのも今時なかもしれません。

ということで、梅窓院が二十四番札所になっている江戸三十三観音の中で、浄土宗寺院に入ポイントを当てました。

その数三十三分の十一、なんと三割が浄土宗寺院でした。一ヶ寺、長期修繕中の三田・濟海寺さんを除く十ヶ寺を回っていきましました。

私たちにいつも寄り添ってくれている観音様。お礼の気持ちを込めて、まずは十ヶ所、お参りしてはいかがでしょうかでしょう。

### ★御朱印のルール

最初に本堂などご本尊様、あるいはお堂の諸仏に手を合わせましょう。そして、浄土宗ですから、南無阿弥陀仏と10回おとなえすることを忘れないようにします。それから寺務所などの窓口で御朱印をもらいましょう。

簡単なことですから、お忘れなきように！

### 四番札所 回向院



ぼとうかん ぜおん ぼさつ  
馬頭観世音菩薩



●ご利益  
徳川家綱公の愛馬が死亡し、上意でその骸を葬ることになり、馬頭観音像が安置されました。伝染病を封じ、病氣平癒のご利益があるとされています。

●御朱印受付時間 9:00~17:00

### 八番札所 清林寺



しょうかん ぜおん ぼさつ  
聖観世音菩薩



●ご利益  
元禄時代から伝わる聖観世音菩薩は、阿弥陀様の脇侍として人々を智慧と慈悲によって救済されます。

●御朱印受付時間 8:00~17:00  
※住職不在の場合は事前に書いた朱印紙をお渡します。観音様をのみの参拝になります。

### 九番札所 定泉寺



じゅういちめんかん ぜおん ぼさつ  
十一面観世音菩薩



●ご利益  
病氣平癒・罪の咎を許す・心の棘をとる等のご利益があるとされています。

●御朱印受付時間 9:00~17:00

### 十番札所 浄心寺



じゅういちめんかん ぜおん ぼさつ  
十一面観世音菩薩



●ご利益  
子育て桜観音と呼ばれる十一面観音菩薩が安置されています。十方をくまなく見つめて私たちの内面の苦しみを救おうとする仏で、その名のとおり、様々な表情の観音菩薩を十面のせた冠が特徴となっています。

●御朱印受付時間 9:00~12:00 / 13:00~16:30

### 十二番札所 傳通院



むりょうしょうかん ぜおん ぼさつ  
無量聖観世音菩薩



病氣平癒、学業成就などの観  
9:00~16:00

# 御朱印巡り

奉拝香

泰平観世音

長青の梅窓院



たいへいかん ぜ おん ぼ さつ  
泰平観世音菩薩

●ご利益

江戸時代より霊験あらたかなる観音様と近隣の信仰を集め、「青山の観音様」と称され、参拝の庶民は群れをなしたとあります。世界平和を求願する霊像として祈願されています。

●御朱印受付時間 9:30~16:30

二十四番札所

梅窓院

ばい そう いん

最寄り駅 外苑前駅



一人ひとりの為に、心を込めて書いています。

奉拝香

道往寺

聖観世音

二十七番札所

道往寺

どう おう じ

最寄り駅 泉岳寺駅



しょうかん ぜ おん ぼ さつ  
聖観世音菩薩  
せんじゅうかん ぜ おん ぼ さつ  
千手観世音菩薩

●ご利益

2つの観音様が本尊とされています。秘仏のため、お前立ちの本尊ですが、年に一度秘仏が公開されるそうです。災難、延命、病気治療などあらゆる現世利益にご利益があり、夫婦円満、恋愛成就にも功德があるとされています。

●御朱印受付時間 9:00~16:00

奉拝香

魚籃観音

三田山

歳三十年 月日

魚籃寺

二十五番札所

魚籃寺

ぎょ らん じ

最寄り駅 白金高輪駅



ぎょらんかん ぜ おん ぼ さつ  
魚籃観世音菩薩

●ご利益

魚を入れた竹籠を掲げている姿から、大漁祈願、魚貝類供養、海上安全、商売繁盛などのご利益があるとされています。

●御朱印受付時間 9:30~16:30

奉拝香

西向聖観世音

大平山 増上寺

大平山 増上寺

年十月廿九日

二十一番札所

増上寺

ぞう じょう じ

最寄り駅 大門駅



にしむきせい かん ぜ おん ぼ さつ  
西向聖観世音菩薩

●ご利益

鎌倉時代に製作され、この地が霊所で、風雅な憩いの場だと言う事で街道に向けて石製の観音像を安置しました。子育てと安産に霊験あらたかであるとされています。

●御朱印受付時間 9:00~17:00

奉拝香

光明山 天徳寺

夏観世音

二十番札所

天徳寺

てん とう じ

最寄り駅 神谷町駅



しょうかん ぜ おん ぼ さつ  
聖観世音菩薩

●ご利益

あらゆる願い事を聞いてくれる観音様と伝えられています。

●御朱印受付時間 10:00~16:00

無量聖観世音

小石川 傳通院

●ご利益

毎月18日に家内安全、音祈願祭があります。

●御朱印受付時間 9

◆本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。  
 いいえ、能登半島までお越しいただき、ありがとうございます。

◆早速ですが、太王漆器さんと梅窓院とのご縁はいつからでしょう。

今の本堂の落慶式の時の引き出物、輪島塗の朱色のお盆を納めさせていただいたのがご縁の始まりです。

◆それ以来、色々な輪島塗を納めていただいていますね。

はい、客殿の机や椅子、茶托、重箱、コーヒーカップなど、大きい品から小さい品まで、大変お世話になっています。

◆そうですか、そうするとお檀家さんは知らぬ間に輪島塗に触れられていますね。

はい、間違いありません(笑)

◆中島住職がよく訪れて直接相談されると聞きますが。

はい、コンスタントに年に1~2回お見えになっています。そして、毎回必ず工房にも足を運ばれます。

◆工房ですか。

ええ、梅窓院さんには本当に数多くの品を納めていることから、いつでも工房で納めた品の補修や塗り直しをしているので、そうした現場を見てもらっています。

◆そうですか。中島住職が塗り物に詳しいことに納得しました。よく塗り物は一生もの、と聞きますが。

はい、塗り物は扱い方や手入れ次第でとても長持ちしますし、もし傷がついたり、色落ちしても補修・復元できますから、高価なイメージがあるかもしれませんが、大切に使用いただければ本当に一生ものになり、愛着も湧かれますよ。

◆高級料亭などで輪島塗が使われる、と聞いたことがありますが。

確かに料亭や旅館へ納めさせていただくことが多かったですね。そして何年かすると順に補修、塗り直しをさせていただき、長く使っていただくのです。

◆なるほど、お寺も何世代にもわたってお檀家さんが足をはこばれますから、まさに日本を代表する輪島塗の品々を大切に使い続けるにはうってつけですね。

その通りですね。日本の伝統工芸品は使うほど味が出ますから。

◆ここで、太王さんのことを伺いたいのですが、広いお店ですね。

父である先代がそれまでの工房だけから、店舗もと建て直しました。



工房では根気のいる作業が黙々と続けられている。



中島住職と 代表取締役、展示用茶室にて。

◆ちなみに組橋さんは何代目ですか。

三代目です。漆芸を学び、家業を継ぎました。工房でも働きましたが、3代目からは父と営業で主に関西一円を一緒に回りました。いわゆる外商ですね。私には姉がいて、姉の夫、私の義理の兄が塗師で、二人で工房と店を切り盛りしてくれました。

◆外商というの。

百貨店まわり、料亭、旅館での注文とり、近年は寺院様関係の得意先開拓にも努めております。

◆なるほど、ちなみに太王さんには塗師職人は何人いらっしゃるのですか。

今は兄を筆頭に5人の塗師職人がいます。輪島塗は工程が長いので、広い工房が必要ですし、職人さんもある程度必要です。昭和60年前後は景気も良かったですから、塗師が10人を超え、営業も何人もいました。父の頃は売れるだろう品物を、注文を前提に作っておける時代でした。

◆いい時代ですね。今はいかがですか。

父が残してくれた店のおかげもあり、新規の顧客も増えました。そして梅窓院さんをはじめ、ご最頂にしてくれるお客様にこれからも誠心誠意尽くして参ります。

◆日本の伝統工芸の輪島塗、これからも大切に使用させていただきます。本日はありがとうございました。



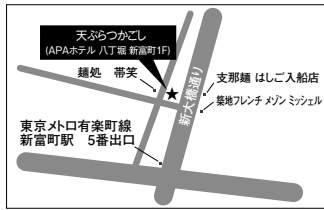
社長は今年還暦を迎えられた。

天ぶら  
つかごし

今回は梅窓院の行事での食事をお願いしているケータリングのつかごしさんが昨年6月に新富町のAPAホテルにオープンさせた天ぶら「つかごし」を紹介致します。

ケータリングを続けて昨年50周年を迎え、お客様と直接触れ合える空間を創りたいと、開店したのが天ぶら専門店。高級料理店と同じ油を使用し、幾つ食べても胃もたれしないので、手頃な価格も手伝って、週に4回来店するお客様もいるとか。

目の前で揚げた天ぶらは本当にサクサクで油っぽさは全くありません。自慢は活車海老と穴子で、食材の新鮮さ



営業時間／  
昼11:00～14:30(14:00 L.O.)  
夜17:00～21:00(20:30 L.O.)  
定休日／日曜日・祝日・祭日  
席数／13席  
住所／東京都中央区新富1-17-8  
APAホテル八丁堀新富町1F  
TEL／03-6228-3033



木の素材を生かした空間は、自然の温もりで溢れています。



天ぶらめし 1,000円  
半熟卵と一緒に食べるのもオススメです。



つかごし天丼 900円  
海老が2本、かき揚げ、野菜、玉子と贅沢な天丼。

をそのまま包み込んでいるようでした。ホテル内の店舗なので、入りやすさも魅力のひとつ。加えて、土日なら最低4名から貸し切りで対応してくれるとのこと。青山からはちょうど離れています。法要の後席で訪れる値打ちのある絶品天ぶら店です。ぜひ足を運んでみて下さい。また、最近ワインで楽しむ天ぶら賞味会も始めたそうです。お昼はかき揚げ700円、夜は3500円、5000円の2コースがあります。

青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○竹林の風あらたまる送り盆

◎入選

○流星群風の夜空を降りきたる

○秋うらら法事の供物選びみて

○草を食む馬の背中に赤とんぼ

○新蕎麦も蕎麦湯も旨し信濃にて

○役員もひとつ歳とり敬老日

○見習ひが道具を揃へ松手入

○古書店主は古書整理中秋暑し

○秋日和胸突き坂を杖頼り

○池めぐる小道の先の薄紅葉

○紅葉見の夫撮影に夢中して

◎選者詠

○一位の実ふふみて寺を去ることに

大崎 紀夫

○ワンポイントアドバイス

例えば「秋拾」とか「冬夕焼」とか、「秋」を「拾」に、「冬」を「夕焼」に付けた言葉は、広く定着していますが、「秋公園」とか「冬校庭」とかになると「春」「夏」「秋」「冬」の季語を無理矢理ほかの言葉に継ぎ合わせたもので、感心しません。上五や下五の五音にしようということなのでしようが、「こははり」「春の公園」とか「冬の校庭」とかにして、のびやかな日本語の魅力を引き出すべきだと思っています。

投句募集

今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月4日(金)を締切、平成31年3月発送の「春彼岸号」にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38  
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウェブ編集室  
電話03-5368-1870

第七十三回  
食は命  
武鈴子  
食養研究家

「柚子湯と  
柚子なますで  
美肌美人！」

冬至に南瓜を食べれば中風にならず、柚子湯に入れば無病息災を得られると言われられています。今日では柚子湯に入れば肌が潤い、風邪をひかないとも。柚子は体を温める温性で、果皮には免疫力を高めるビタミンCや、毛細血管を刺激して血行を促進し、保湿作用のあるリモネンなどの香り成分が豊富に含まれていて、科学的にもその効果が認められています。

柚子の皮は独特の芳香があり、果実は酸味が強く生食はできないけれども香辛料、マーマレードの原料として用いられています。さわやかな酸味は、胃液の分泌を促して消化を助け、魚肉の毒を消す効果があるとされますから、焼き魚や鍋物のタレに、わずかな絞り汁や果皮をプラスするだけでも効果的です。酸味のもとにはクエン酸やリンゴ酸などの有機酸で、疲労回復や筋肉痛の改善にも役立ちます。

みずみずしい大根とコラボで美味しい「柚子なます」はいかがでしょう。大根1/2本の皮をむいて、4cmの長さの拍子切りにし、塩をふってよくもみこみます。柚子の皮はせん切りにして、種は除き、実は絞ります。鍋に砂糖と酢を入れて弱火にかけ、砂糖が溶けたら火を止め、柚子の絞り汁を加えて混ぜます。容器に大根の水気を絞って入れ、甘酢と柚子の皮を入れます。時々混ぜながら、1時間くらいおいたら食べられますが、冷蔵庫に入れて半日くらいたつ方がより美味しく食べられます。

## 日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

私共は梅窓院にお墓をお求めの方のお手伝いをしてありますが、先日亡くなられた方が梅窓院にお墓を求めたことをご親族に伝えていなかったために危うくご納骨できなくなるところでした。お申込み時には妹様と見えていたのですが、妹様はそのことをすっかり忘れていたようです。ご遺族の方から「〇〇のお墓はそちらにありますか?」との問い合わせで、どちらもびっくりしました。

お墓はお一人で申込もできるので、その際にはできるだけお知り合い、ご連絡先をこちらでもお伺いしておりますが、皆様もご親族、ご友人に「梅窓院にお墓もっている。」とアピールしてくださいね。今回はたまたまご遺族の方が故人の身の回りの物を片付けていて、梅窓院の書類を見つけられたので、無事に連絡が付き故人様は自分で建てたお墓に入ることができました。仏様も私共も一安心です。

ところで皆様は今何をされていますか? 私たちはカレンダー配りで忙しくしております。

(墓苑部: 森)

### お檀家さんに伺いました

平成30年秋彼岸法要にて

「ご先祖に感謝の気持ちを込めて」

毎年、春彼岸・秋彼岸になると家族でお墓参りに行くように心掛けています。

お参りの際にいつも思うことは、ご先祖の方々が元気でいて下さったからこそ、私たち家族が存在するのだと強く感じたことです。これから先も、家族みんなでお参りをしていきたいです。

また、写真展の作品は一人ひとりの個性が表現されていて、楽しく拝見しました。

2019年

## 年間行事予定

◆修正会	1月1日(火)
◆第76回 念仏と法話の会	2月28日(木)
◆春彼岸会法要・寄席・物産展	3月21日(木)
◆はなまつり	4月5日(金)～8日(月)
◆大施餓鬼会法要	5月18日(土)
◆開山忌法要・能楽奉納	6月8日(土)
◆第77回 念仏と法話の会	6月18日(火)
◆盂蘭盆会法要	7月13日(土)
◆秋彼岸会法要・寄席	9月23日(月)
◆文化講演会	10月開催予定
◆十夜法要・芋煮会	11月16日(土)
◆M・ファン・デン・フック・ピアノリサイタル	11月開催予定



※予定は変更になる場合もございます。ご了承下さい。

## 平成30年度 後期 仏教講座のご案内

受講無料・場所/梅窓院祖師堂

### 講座 午後5時～7時(受付は午後4時から)

講 題/観音菩薩信仰(II)一人ひとりの願いに応える菩薩—  
講 師/新井 俊定 先生(天然寺住職)  
●第3回… 2月15日(金)『長谷寺験記』の霊験



講 題/般若経の私解私釈「大乘仏教を理解する」シリーズ(3)  
講 師/勝崎 裕彦 先生(大正大学名誉教授、香蓮寺住職)

- 第1回… 12月20日(木) 小品系般若経第一章品I—対告衆と教説の仕組み—
- 第2回… 1月17日(木) 小品系般若経第一章品II—菩薩魔訶薩義と大乘—
- 第3回… 2月21日(木) 小品系般若経第一章品III—般若波羅蜜の修習・修行—



講 題/法然上人のみ教え—『選択集』を読む—

講 師/林田 康順 先生(大正大学教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺住職)  
●第3回… 3月 1日(金)『選択集』第14章諸仏の証明



### 講座 午後6時～8時(受付は午後5時から)

講 題/高僧の伝記を読む  
講 師/阿川 正貴 先生(浄土寺住職、大正大学講師)

- 第2回… 1月24日(木) 廬山の慧遠その2
- 第3回… 3月 7日(木) 廬山の慧遠その3



講 題/「歎異抄」を読む(下) 一人間の生き方を問う—

講 師/本林 靖久 先生(大谷大学、佛教大学講師、真宗大谷派僧侶)  
●第1回… 12月21日(金) 本願にすべてをまかせ—第十一条～第十三条—  
●第2回… 2月 1日(金) 自然すなわち他力なり—第十四条～第十六条—  
●第3回… 3月11日(月) 平生業成を生きる—第十七条・第十八条・後序—



各講座第3回目の最終講座は、後半、茶話会となります。講師の先生方や受講生同士、この機会に交流を深めて下さい。

## 行事予定

### 第76回 念仏と法話の会

2月28日(木)

時間 11時30分～(受付11時より開始)

お齋/別時念仏会/法話/茶話会

法話 幸せを呼ぶ心とは?

講師 京都 静林寺住職

入江康隆上人

発 行/梅窓院  
発 行 日/平成31年1月1日  
発 行 人/中島 真成  
編 集/青山文化村  
住 所/〒107-0062  
東京都港区南青山2-26-28  
電 話/03-3404-8447  
F A X/03-3404-8436  
ホームページ/ <http://www.baisouin.or.jp/>  
E-Mail/ [jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)  
題 字/中村康隆元浄土門主  
総本山知恩院第八十六世門跡